



発行所

社団法人 東京都土地改良協会  
 理事長 鈴木 義 順  
 千代田区 山崎 浦 1-1  
 東京 都 山崎 浦 1-1  
 印刷所 山崎 浦 1-1  
 電話 (34) 6053番

# 帳 都下農業 主 土木に寄せる

都下における農業土木技術の分野は、勿論都内の農業の前途につながるが、ばならないが、都市近郊農業の複雑な様相と共に、大きな壁にぶつかって居る。壁とは、いまでもなく農業土木の前進をばむ直接、間接の政治的、社会的壁であって、早い話は農地解放の結果は耕作地の少ない農家がふえて、自然兼業農家が、又都市化の影響を強く受けるため、耕作者として本格的に農業改善に乗り出して新しい技術や機械をだれもが、どしどし取り入れて一般的に近代農業を営むまでに至らない。小面積の耕地では一家の経営はささえられない。従って兼業経営をやると云う悪循環が低位生産性と云われ

る結果になって、農業の近代化、農家生活の向上どころではない。又都市化の影響には首都圏整備の問題が直接農家へ響いてゆく。首都の形態が既成市街地とグリーンベルトに分けられるが、空地地帯にも公共施設が入ることになれば自然農地は買上げられると云う気構えになり、殊に急激な住宅建築のため住宅公園、住宅協会、都営住宅等に農地が買上げられて行く時これらを見ている農家は、収入の少ない農地を持って居るより高価に売って転業でもしようとする傾向が出てくる。然し転業にも自ら限度がある。相当規模の農家は、家内努力組織も、身についた農業技術も、は家

も、農業資本も、更に農国の大本とされた農家気風も、凡ての農業構造を打ち捨てて皆が農業を脱脚すると云うことは六つかしい。農地が転用されて行くことは、農業発展の壁には違いない、然し農業土木は不退転の決意をもって農業の味方をしなければならぬ。東京都内といへども明治三十二年に発布せられた耕地整理法以来の農業土木である。

明治の間にも既に耕地整理を施行したのは二三に止まらない、米麦増産のため区画整理して交換分合し、まっ直ぐな道路水路を耕地の中に走らせて当時の世人をしょく目させた。大正八年に制定された開墾助成法、大正十二年から実施された排水改良事業、これらの制度を中心として地の総合開発を具体化し又用水源確保の技術と水の利用に機械を取入れて灌漑排水に新生面を開いて来た。昭和七年頃は農家極度の経営不如意と食糧不足で時

局匡救耕地事業の政策が打ち出されたので暗渠排水、床締、客土等の事業を起して農村不況を救い、昭和九十年には早害がひどく、このため早害応急施設耕地事業を十一、二年には費用公共施設、十三、四年は自作農耕地開発事業を、十五、六年には臨時米穀増産施設事業を、やっつけているうち戦争は愈々急を告げ益々食糧の国内自給自足態勢の強化となり、食糧増産土地改良事業の第一次計画から年を追って昭和十六、七、八、九年と第三次計画に進み全くの馬車馬式増産対策にあらゆる努力を傾けて来た。

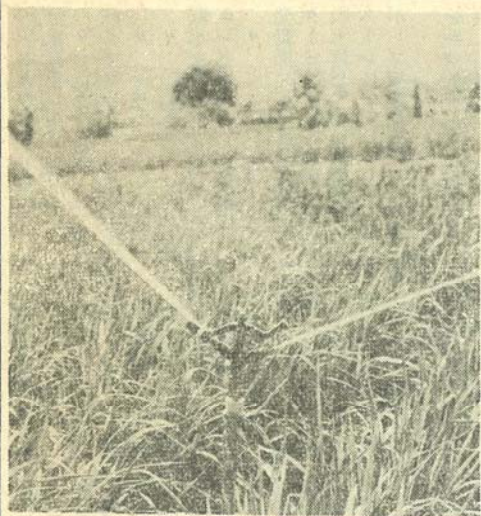
敗戦に見舞われて国民は裸のままほり出された。数百万の復員者、引揚者離職者の受入れのため、矢継早の開墾が要請せられ緊急開拓五カ年計画として平地林、軍用地、原野、河川敷と凡そ休閑地をさらけ出し、上野の不忍池迄も開墾するという内地移民の開墾が行われた。

であるがたとえ補助政策が薄いとしてもこれら農業土木推進の壁は都下農業土木の伝統にかけて不退転の理想と勇猛心を振って突き破り、未だ多く残された要土地改良の団地に余すところなく耕地整理を励行して農業土木技術を永遠に残したいものと希う。(大野奇)

協会日誌

- 一、一四、練馬区南町土地改良事業計画について地元加藤区議他三氏陳情に来庁
- 一、一六、衆議院第二議員会館において一都九県関東ブロック協会連合会理事長会を開催し三十三年度農林予算の復活要求に対する方針を協議し各県選出議員に要請す
- 一、二一、前回は引き続き衆議院第二議員会館において一都九県関東ブロック協会連合会理事長会を開催し三十三年度農林予算査定額の再度復活要請を協議し各省、各県選出議員宛陳情する理事長出席農地課長、大岡係長、安永主事
- 一、二二、
- 二、一、
- 二、二、
- 二、三、
- 二、四、
- 二、五、新中川沿岸第三土地改良区、財務局による地区境界査定開始
- 二、六、江東三区事務所において都主催による地籍調査に対する協議会を開催三十二年度実施地区について検査監査の指導方針を確立した
- 二、二一、東京都土地改良事業団体連合会設立発起人会を開催設立基本方針、並びに定款事業計画その他重要事項を起草した





元八王子試験地のスプリンクラー

### スプリンクラーによるかんがい

最近畑かんがいの方法として、スプリンクラー(散水器)による方法が研究の域を脱して、各地で実用化される様になって来た。撒水かんがいの方法には色々な型式のものがある。全部の施設をかんがいの場所に固定しておく定置式施設の全部を移動出来る様にしてある可搬式。

両者の組合せた半定置式のものがある。

都農地課に於いて元八王子の試験地で調査研究された結果、比較的施設費の安い可搬式のもの、畦間かんがい法と相まって都内で普及されるのではないかと見ている。[方法の概要]はこの装置を紹介しよう。[方法の概要]は、①井戸、河川大規模畑地か

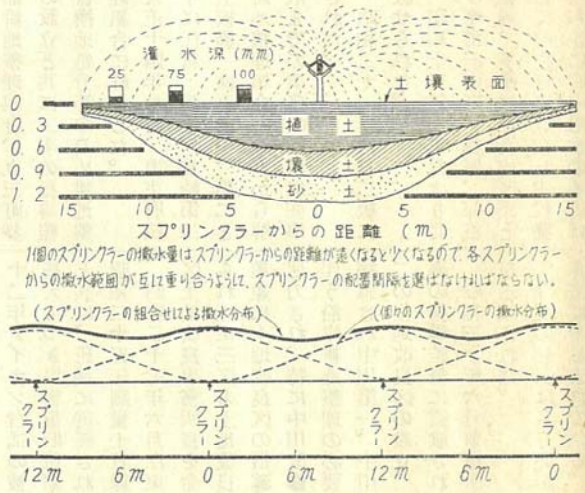
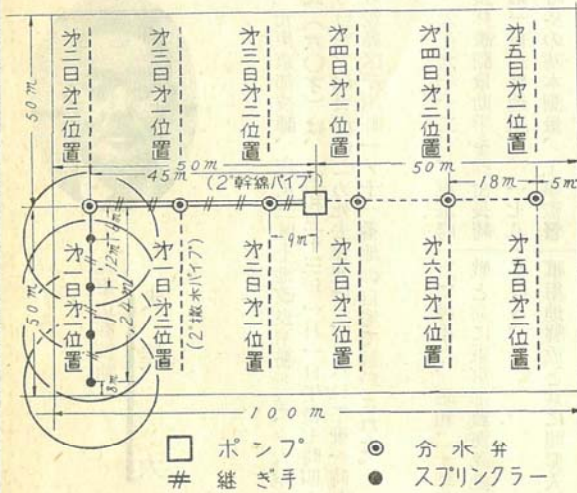
んがいの地区の幹線水路等からポンプで揚水し、一定の圧力で送水する。

②水はパイプを通してスプリンクラーに送られる。このパイプは、アルミニウム管、硬質塩化ビニール管、ポリエチレン管等が使用され、一本が六米或は四米位のものを連結装置で簡単にとりはずし出来る様になっている。

③スプリンクラーは一分間に一回転しながら周囲に撒水する。

④スプリンクラーの(ノズル水の出る穴)の大きさを變えたり、送水圧力を変えたり、これによって撒水量を適当に變えることが出来る。

⑤一カ所で撒水が終わったら別の場所へ撒水線に移して次のかんがいを始める。移動が非常に容易に短時間で行える。



品目	仕様	数量	単価	金額
散水器	普通圧力十二個	一、六〇〇個	一九一〇〇円	
同ソケット	3"	十一	二五〇	三、〇〇〇
立上り管	1×1M	十一	四四〇	五、二八〇
立上り支柱	三本脚十二	五〇〇	六、〇〇〇	三、〇〇〇
圧力計	コックチーヌ附属品共	二、三五〇	二、七〇〇	七、〇〇〇
アルミパイプ	3"×4.5m	九	二八〇	二、五二〇
"	2 1/2"×4.5m	一、一七五	六、七五〇	七、九二〇
"	2"×4m	三	一、七五〇	五、二五〇
接手	3"	六	一、六〇〇	九、七五〇
"	2 1/2"	六	一、一〇〇	六、六〇〇
"	2"	六	一、一〇〇	六、六〇〇
立上り接手	2"	一、一八〇	一、四〇〇	一、六〇〇
片落カップラー	3"×2 1/2"	一	一、一〇〇	一、一〇〇
				三、五〇〇

設計例	所要時間	原動機	経費
1 区画形状200m×150m	17	揚水量三五〇立分	七馬力
2 間断日数……五日	16	原動機	七馬力
3 一日のかん水面積……六反歩	15	原動機	七馬力
4 一日の作業計画……移動を一日二回とし一回のかんがい時間六時間計十二時間時間途中管路の移動据付け等の所要時間三回計一、五時間、総計一三、時間	14	原動機	七馬力

所要経費	対象作物	土壌	一回の用水量	かんがいの効率	粗用水量	かんがいの強度	散水器の配置	散水線の間隔	散水器の間隔	散水器の寸法	散水器の所要放水水量	散水水量	散水圧	散水径	散水ノズルの寸法
5	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
6	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
7	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
8	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
9	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
10	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
11	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
12	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
13	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
14	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
15	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	
16	陸稲	関東ローム	三・五五	七五%	四・六七	七・八	散水器の配置	一・八	二・八	3/16×8/1"	二、八	22.7m	2.1kg/cm <sup>2</sup>	2.9φ/mm	

ペントカップラー <sup>3</sup>	一三、五〇〇	三、五〇〇
分水接手 3"×2"	四、五〇〇	一三、五〇〇
" 2 1/2"×2"	三、八〇〇	一、四〇〇
パイプフット 2"	三、二八〇	九、二四〇
" 2 1/2"	一、一	三、八五〇
" 3"	九	四二〇
取水キャップ 2 1/2"用	一三、九〇〇	七、七八〇
ユンドブラグ 2 1/2"用	一、八二〇	八二〇
" 2"	二	一、三〇〇
発動機 ヌール 7HP	一、一五、〇〇〇	一、一五、〇〇〇
タービンポンプ 2 1/2"口径	一、七三三、〇〇〇	七三三、〇〇〇
吸水管 3/4"×3m 鋼製	一、一五、〇〇〇	一〇、〇〇〇
ストレーナ	一組	一、八〇〇
ポンプ接続部品 正引計 ヌール マンマ	一式	一、八〇〇
ジェットホース 附器具 共	一本	一〇、〇〇〇
合計	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三町歩施設費が五一〇、三二〇円と云う事は反当り一七、〇一〇円で反当り二万円と云うのが大体の標準である。(農地課宇賀田技師)	五一〇、三二〇	五、〇〇〇

### 地籍調査に関する協議会を開催

昭和三十三年一月二十九日午前九時三十分より都下地籍調査実施市町村並土地改良区の職員の出席を求め渋谷区代々木荘に於て開催都から農地課長難波武夫、岡崎係長、川村、福田両技師出席当協会から林事務長出席左記事項について協議した。

### 消息

#### 川名進一氏渡米

熊谷組理事、東京都整地会副会長、川名進一氏は三月二十六日、アメリカに於ける大規模かんがい排水事業を視察のため羽田空港を出発、帰朝は四月下旬の予定



元東京都技師 大屋大

元東京都技師、江東三区土地改良事務所長、大屋大氏(六〇才)は、昭和三十三年一月一日午後七時四十分自宅で副腎炎のため死去葬儀は一月八日午後一時から豊島区千川町一ノ十一番地の自宅で執行された。

大正九年十二月、東京府農林課測量助手を拝命長崎第一耕地整理組合、一七八町歩の基本測量、工事監督され大正十五年には板橋中部耕地整理組合、九三町歩の設立と共に工事の指導監督換地処分等の為め耕地整理組合に駐在した。

昭和二十二年八月二級に授けられた。昭和十三年十二月より北多摩郡府中町、谷保、保谷稲城、多摩村を受持区域として府中町に駐在し、救農土木並に府中用水の基礎調

## 土地改良協会の事業案内

東京都土地改良協会は次の事業を受託いたします。

- ◎土地改良事業の調査測量設計、かんがい排水、畑地かんがい、暗渠排水、客土、区画整理、農道等の新設改修、その他土地改良工事の監督指導経理事務の指導援助
- ◎土地改良区の設立に関する一切の業務助成
- ◎災害復旧工事の調査、測量、設計申請に関する業務の助成
- ◎区画整理、換地処分より登記申請、解散に至る迄の業務助成
- ◎地籍調査の委託一筆地調査、地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、地籍細部測量図及び地籍簿の作成六工程
- ◎農林漁業資金の借入業務のほか、土地改良業務に関する総ての御相談に応じます。業務は本会の「受託規程基準」により実費程度で受託します。職員が出張し経費の見積その他御相談に応じます。

### 東京都土地改良協会の東京都市土地改良法改正に伴い東京都土地改良協会を設立する方針である。

#### 東京都土地改良法改正に伴い東京都土地改良協会を設立する方針である。

今般土地改良法の改正に伴い東京都土地改良協会は左記方針により東京都土地改良事業団体連合会を設立する方針である。

連合会設立の基本方針  
連合会は左記順序に従い三月中旬に創立総会を開き農林省の認可を得て三十三年新年度より発足したい従つて協会の解散は連合会発足の日をもって解散することとした。

連合会の会員  
土地改良区、市町村等の現協会々員全員の連合会加入を勧奨すると共に新規加入会員をつのるものとする。尚詳細については土地改良だより次号でお知らせします。